



経験  
プラス  
刷新力

**充実!!** 石川の「福祉」  
「スポーツ・教育・国際交流」  
「安心・安全・医療」

石川県議会議員

# ひもの 義昭 よしあき

2021年  
冬本番号  
ひもの通信

## みなさんの声を 必ず伝えます!



令和3年当初議会で一般質問

誰よりも多く、本会議場で質問に立ってきました。

### 1.福祉の充実

- ★金沢市内の新しい交通ネットワークの構築と高齢者、障害者にやさしい街づくりを推進
- ★学童保育、結婚支援など総合的な子育て支援、少子化対策の充実
- ★難病患者支援や障害者の雇用促進などやさしい社会体制づくりを推進
- ★精神障害者の生活基盤改善 ★発達障害者(児)の支援策充実・拡大



### 2.スポーツ・教育・国際交流の充実

- ★スポーツの振興や競技力向上、武道館建設などの施設整備を推進
- ★障害者や高齢者が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりの推進
- ★建学の精神を尊重した私立幼稚園・学校、専修各種学校への支援策の充実
- ★栄養教諭、職員の活用による「地産地消」「食育」の充実
- ★公立夜間中学の設置 ★海外の国々との交流促進



### 3.安心・安全・医療の充実

- ★新型コロナウイルスなど感染症対策の充実 ★感染者用病床の確保・拡充
- ★国民病であるガン予防対策の充実 ★子どもや障害者の医療費の助成制度の拡大
- ★かかりつけ薬局による県民の健康保持施策の充実 ★摂食障害への相談・支援体制
- ★タバコの煙から子どもや高齢者を守る施策の充実 ★外国人への交通教育の推進

### プロフィール

昭和30年9月9日金沢市内で生まれる。現在66歳。  
 地元の市立十一屋小学校、野田中学校、県立金沢泉丘高校に学ぶ。早稲田大学政経学部を卒業後、森喜朗代議士の秘書となり、政治と地方議員の役割を学ぶ。「青年の政治参加」をスローガンに、昭和58年金沢市議会議員選挙に最年少記録27歳での初当選。平成3年石川県議会議員に初当選以来、連続8期。

家族は妻と次男そして父親の4人家族。(長男夫婦独立)

平成20年、第89代石川県議会議員に就任。これまでに、議会運営委員会委員長、県監査委員、現在は日韓友好促進議員連盟会長、自民党石川県連副会長、これまで幹事長、総務会長、政調会長、青年局長などを務める。

#### 現在のおもな役職

- 石川県都市計画審議会委員
- 石川県音楽文化協会常任理事
- 石川県体育協会理事
- いしかわ観光振興議員懇話会 会長
- 石川県馬事振興協会 会長
- 石川県アーチェリー協会 会長
- 日本保育協会石川県支部・日本保育推進連盟顧問
- 金沢日曜野球連盟顧問
- 石川県社交料飲生活衛生同業組合顧問
- 石川県フォークダンス連盟顧問
- 自衛隊金沢駐屯地協会副会長(事務局長)
- 平和町連合町会相談役

### 事務所が移転しました



お気軽にお立ち寄り、ご連絡ください。



### ひもの義昭 後援会事務所

〒921-8116 金沢市泉野出町2丁目7-18

☎076-241-7744

[FAX] 076-241-4764 ✉ info@himonoyoshiaki.jp

https://www.facebook.com/himonoyoshiaki

ホームページはコチラから ひもの義昭 | 検索

誰もが住みたくなる ふるさと「石川・金沢」の実現に向けて

## 経験と刷新力を生かし、 全力で取り組みます!



県議会在職30年  
知事からの表彰を受ける

先の衆議院選挙では、皆様のご理解とご支援により、26年間国会議員として活躍してきた馳浩前代議士から小森卓夫さんにスムーズに交代が果たせました。心より感謝申し上げます。谷本現知事のご勇退を受けての3月に予定される県知事選挙の話題が炙りようになってきました。約28年、県政をリードされたことに敬意を表しますが、**知事公舎の一般開放や北陸新幹線大阪延伸など残された課題**も数多くあります。私も、石川県議会議員 **ひもの義昭** お役に立てるよう今後も一所懸命に努力していくことをお誓いさせていただいて、皆さまへの感謝のご挨拶とします。

石川県議会議員  
ひもの義昭



全国小学生ラグビー大会・石川県予選  
石川県ラグビーフットボール協会会長として挨拶



酒販組合の自民党国会議員団(馳・佐々木代議士)への  
要望会に立ち会う(左端は金沢支部長の山上さん)



映画「スパイスより愛を込めて。」(仮題)  
ゴーゴーカレー宮森社長らと知事への制作報告



石川県マスターズ水泳選手権大会・200mリレー240歳以上の部に出場!  
泉丘高校水泳部OB(泉泳会)チームの第3泳者で飛び込みました



### 友の会行事 コロナ対策に十分に注意を払って、開催しました。

**ボーリング大会** 11月23日マンボウ金沢で行いました。



ご参加いただいた皆さんに感謝のご挨拶 優勝の蓮池工業チームの皆さん

**映画会** 秋の映画会は11月13日県立美術館で行いました。映画は立川志の輔主演の「ねことじいちゃん」ご来場ありがとうございました。

これまで県議会議員として8期31年間、過去最多の100回以上質問に立ち、知事をはじめ執行部に提案、実行を求めました。これからも変わらず皆様の声を伝えていきます。

馳政経セミナーにて(馳氏の右側は私の家族)



**第49回 衆議院議員選挙**

- 当選** 石川1区の開票結果  
小森卓郎 自民・新  
8万8321票
- 当選** 石川2区 佐々木紀 自民・前
- 当選** 石川3区 西田昭二 自民・前

**第100代内閣総理大臣に  
岸田文雄自民党総裁**

岸田首相は新型コロナウイルス対策、「成長」と「分配」の好循環による新たな日本型資本主義の構築を目指し、信頼ある政治を進めることを明らかにしました。



森喜朗名誉会長を中心に石川県ラグビーフットボール協会会員と(二水高校ラグビー部OB会主催のワールドカップ、オリパラ大会の成功を祝う会)



旧知の橋本聖子東京オリ・パラ組織委員会会長は「パラの成功なくして東京2020大会の成功はない」と述べています。



県民栄誉賞贈呈式で



東京パラリンピック・ボッチャ競技ベアの部で銀メダルに輝いた田中恵子、孝子さん母娘(小松市民栄誉賞授賞式)  
左側は中空さん(初めてボッチャを指導)  
写真は北陸中日新聞社提供(2021.9.17掲載)



東京オリンピック・アーティスティックスイミング競技4位の木島萌香選手(白山市出身)と知事を訪問  
左側は東野県水泳協会AS委員長(私は県水泳協会副会長)

**松本薫さん石川県観光大使に!**



聖火リレー・点火セレモニー中央が松本さん(金沢城公園)



NHKでの放送本番前に



日本武道館で  
右側は柔道の吉田秀彦氏



ロンドンオリンピックで金メダルを獲得したときに松本選手と(私は石川県柔道連盟顧問)

松本薫さんは、金沢市で生まれ育って、地元の岩井道場で柔道を習い始めました。私の次男も同じ岩井道場で習っていたこともあり、子どもの頃より良く知っており、金沢に帰って来られると一緒に食事をすることもあります。2012年のロンドンオリンピックでは、西恒成会長を始め県柔道連盟の皆さん、また私の妻も一緒に現地で声をかかしての応援、金メダルを獲得した時には本当に感動しました。そんな松本さんが、東京オリンピックでの解説(NHK放送)がとても分かり易くて、素晴らしいと何度も褒められていました。かつて「野獣」と呼ばれていた松本さんですが、テレビ中継で見た心のこもった解説を見て、これからはもっと多くのファンが増えそうですね。

**女性の活躍社会について**  
女性が活躍できる社会の構築に向けて、どれ程の思いをもつのか。  
◎知事 国、市町、企業、団体等との連携を密にし、女性が個性と能力を十分に発揮できるような女性活躍を推進している。  
他県での先進的な取り組みを見ながら、「コロナ禍で課題になっている女性の雇用について」もさらなる積極的な取り組みが必要。  
**女性管理職の起用に繋がる人材育成に力を**入れていくべき。  
◎総務部長 課長級以上の管理職を対象に、限られた時間で成果を上げる働き方についての意識醸成を図るため、イクボス研修を実施、環境整備に努めている。  
徳島県などの特色ある取り組みを見習って、**女性管理職全国一を目指すくらい**の気持を持って進めてもらいたい。

**全国知事会について**  
「コロナを乗り越える新たな地方創生・日本創造本部長」に就任したが、現場に近いと思われる地方の声を提言として国に伝えていきたい。  
◎知事 様々な課題を仕分けしながら、より現場に近いと思われる地方の声を提言として国に伝えていきたい。  
**本県スポーツの振興について**  
パラスポーツ支援についての考えは。  
◎知事 障害者のある方がスポーツに取り組むことは、自立と社会参加の促進に繋がる。他県と比べても、決して十分な支援体制とは思えない。本県の障害に対する向き方の度合いが表れているのであり、残念に感じる。  
パラリンピアン競技者の努力する姿は、子供たちに伝えるべき。  
◎県民文化スポーツ部長・教育長 今ある身体機能を最大限に使用して、頑張る姿はまさに生きた教材であり、あきらめない気持ち醸成するためにも重要。  
すでに全国38道府県では、体育協会はスポーツ協会に改称されている。  
◎知事 東京オリ・パラにより、県民のスポーツに対する機運が高まり、変更して、改めてスポーツの振興に向けて一歩踏み出すことは意義がある。  
県体協会長である知事の決断により、すぐにもでき、やる気の問題。遅れるだけ、県内スポーツ関係者は肩身の狭い思いをする。

**交通事故対策について**  
県内の危険なバス停の安全確保策は。  
◎警察本部長 国は県内58か所の危険なバス停が公表、石川運輸支局、県バス協会、道路管理者等で構成する県バス停留所安全性確保合同検討会を設置され、横断歩道の移設、廃止を検討している。  
危険なバス停が一日も早くなくなるよう県警察のリーダーシップを期待。  
**能登の振興について**  
いまだ成果が見えない過疎対策を能登の人たちにどう説明するのか。  
◎知事 過疎対策は一朝一夕には解決しない難しい問題であり、今後も様々な分野での積み重ねを図りながら、能登地域の振興に全力を傾ける。  
空港、道路、港湾や企業誘致、特色ある自然や祭りの保存に力を注ぎ入れても、人口減少が止まらないのでは本末転倒ではないか。

**新型コロナウイルス感染症対策について**  
コロナの自宅療養者の個人情報市町に提供されるべき。  
◎健康福祉部長 生活支援に市町の協力が必要となった場合、本人の同意のもとで情報を提供し、協力をお願いすることもありえる。なぜ市町は情報提供を求めるのか、県の4保健所だけで健康観察などの対応を十分にできていないから。国も生活支援に必要な個人情報には緊急性があり、市町に提供すべきと通達している。  
県のコロナ専門家会議が約1年も開催されていない。  
◎健康福祉部長 7月下旬の開催予定は第5波の感染拡大で延期。  
医療対策の強化策は、常に有識者や専門家の会議に諮問や相談しておくべき。専門家会議がないから、座長が頻りにマスメディアで発言するのは。  
感染状況によって、一日でも早く制限緩和など、柔軟な対応をとることが、飲食関連業者の理解に繋がるのでは。

令和3年9月定期議会 一般質問 令和3年9月14日

**「コロナ自宅療養者の情報は市町に伝えるべき。プライバシーより命が大事!」**

自民会派の皆さんの理解をいただき、9月議会でも知事並びに執行部を質しましたが、いつものように前向きな答弁は少なく、議員の手柄にはさせない、功績は知事という意図が見え隠れしており、頑張っている若い議員の皆さんは可哀そう、これでは執行部が議会の活性化を望んでいないと思えてなりません。私自身は、これからも政策勉強を積み重ね、工夫を加えて、質問戦に臨んでいきます。



自席から知事に再質問